

デイサービス施設を設置予定で、併せて小規模多機能施設も検討されている。

### 空家・空地対策の取り組みは

西山輝和議員

現在、町では空家等の状況をホームページに掲載しているほか、担当課窓口において情報の提供を行っているのですが、それらの状況、成果等について伺います。

最近、地域の中で情報提供等の仲介的な役割を果たせる組織をつくりたいとの話も出ているようで、それらの情報を収集し、早急に行政として支援可能な体制を整えることが必要ではないか。

高薄町長

平成18年12月からホームページで情報を提供しており、登録は空家が2件、空地が6件の状況だが、ホームページのアクセス

数は月平均で300件ある。市街地活性化の重要な課題であり、商工関係は経済活性化戦略会議で平成19年度、清水地区・御影地区の調査を行うが、その他は町が進めても進まないのが現状で、町民による組織が結成されればより効果的な対策になり、町も支援策、協力体制をとらなければならぬ。

### 税金の納期の見直しを

西山輝和議員

平成19年度より所得税から住民税への税源移譲に伴う税率の変更、定率控除の廃止等により、ほとんどの方が今まで以上の税負担になると予想されます。

そこで、現在決められている納期を、固定資産税等は3期から4期に、国民健康保険税は7期から10期程度に見直しを行い、納税

者の一度の負担を軽くするような工夫が必要ではないか。高薄町長 できる限り回数を増やすようにしなければならぬが、納期を増やすことは、財政運営上で資金不足により一時借入れが必要になる、システム改善の初期投資がかかることもあり、考慮して検討していく。

### 基金に頼らない予算づくりを

西山輝和議員

基金残高は年々減少し、毎年数億円を取り崩す状況が続いており、今後思い切った補助金削減と施設等の見直しが必要ではないか。

また、実行プランでは近い将来、120名の職員数を目標にしていますが、現在の183名からの削減について、定年退職を待つだけでなく、何らかの方策が必要で、

池田町で3月定例会に提案された退職手当増額の条例を、本町も早急に検討する必要があるのでないか。高薄町長 基金に頼らない予算づくりをできないのが現状だが、行財政改革を進めた結果、平成19年度の基金残高は、当初予定で8億9000万円が予算ベースで12億1000万円になり、3億2000万円の効果になる。第二次緊急3カ年計画では、大きく取り崩さないような行政運営をしなければならぬ。

### 町民の思いと違うフロイデ

奥秋康子議員

建物整備完成まで13億円の投資、その後毎年4000万円の持ち出しを繰り返してきた。町の財政は常に危険な綱渡り状況と言いつつ、平成19年度末まで営業この報告である。灯を消して売却先を探す方法もあつたのでは。見通しの甘さ、動き出すと止まらないその間、税金の無駄遣いを続けてきたのでは。スピード感のある決断が必要でなかつたか。1年延ばした町民のメリットは、4分の3が町外利用で町民の血税を膨大に使い続けることに問題はないか。

高薄町長

灯を消すといつても、温泉の水を抜かなければ光熱水費等の基本料金を払わなければならない。スキー場等も時間がかっており、つくる時は簡



売却により存続を目指すしみず温泉フロイデ

単にできるが、廃止、売却は非常に難しい問題である。町民のメリットは、温泉の有無でイメージが違う、コテージに宿泊することによる町内での買い物等が挙げられる。4分の1が町民で平成16・17年度の利用者が2万5000人以上あり、公衆浴場には足がなくて行けないが、温泉は送迎があるので続けてほしいとの希望も寄せられた。